

# しがの農 × 福 通信

令和2年(2020年)2月第6号

発行者:滋賀県農政水産部農政課

今回は、「しがの農×福ネットワーク」に御参加いただいている福祉事業所の農福連携の取組について、御紹介します。

## 取組事例紹介

### 福 一般社団法人就農ベンチャー協会 びわこ板倉ファーム(守山市)

#### ○ 事業概要

一般社団法人就農ベンチャー協会 びわこ板倉ファーム(以下、「びわこ板倉ファーム」)は、就労継続支援B型事業所として2013年に開設されました。現在、障害者8名とスタッフ6名で、農業を主な事業として、露地とパレットでの無農薬、有機栽培による野菜やお米の生産、近隣農家からの収穫や草刈りの受託など、様々な農作業に取り組まれています。

#### ○ オーガニックコットンの栽培

昨年5月に草津市の打ち直し・丸洗い専門店(株)みつやからの委託を受け、オーガニックコットンとして、和綿や緑綿、ペルー産のバルバデンセンの3種類の高級綿の栽培を始められました。綿の栽培は初めてで、県の「農業技術向上支援事業」を活用し、専門家からアドバイスを受けたり、自らインターネットで調べるなど、試行錯誤をしながら取り組んだ結果、今年度の収穫量は約10kgとなりました。「肥料はすべて手作りで、無農薬なので、害虫被害などに悪戦苦闘しましたが、初年度にしては上質な綿ができました。来年度は3倍の量を目指しています。」と、代表理事の西山英里さんはおっしゃられます。収穫後の綿線り作業もすべて利用者の皆さんの手作業で行われています。また、(株)みつやと共同で綿を加工したオリジナル製品の開発や、ワークショップ、収穫体験などをできないか、次の展開も考えられているようです。



#### ○ 地域との交流

びわこ板倉ファームでは、地域との交流にも力を入れています。お正月の餅つきや節分の巻き寿司作り、畑での収穫作業に近隣の児童福祉施設や子ども食堂、放課後等デイサービスの子ども達を招いてイベントを開催されています。また、休憩スペースの「板倉カフェ」は、間伐材でできた水屋や大きな薪ストーブもあり、使用しない日は貸しスペースとしての活用も考えられています。

人との交流が限られている利用者の交流の場を作りたい、次世代を担う子ども達に差別と偏見のない社会を作りたい、そんな思いから積極的に交流の機会を設けていっしょにやります。



○ 春から貸し農園を始めます！

今春から沢山の方に気軽に土と触れ合う場を提供したいという思いから、貸し農園事業をスタートされます。パレットを利用した農地を1区画 3,000円で一般の方に貸し出し、平日の水やりや草引き等の管理をびわこ板倉ファームで行い、土日市民の方に農作業や収穫に来ていただき、「板倉カフェ」で採りたて野菜の調理やバーベキューを楽しんでいただく仕組みを考えておられます。現在は、オープンに向けて、堆肥をたっぷり含んだ土づくりを進めていらっしゃいます。



● 代表理事 西山英里さんの取組に対する思い

びわこ板倉の家(株)からの木工や薪割りの業務請負の仕事、行政からの掃除の委託など、農業以外の仕事もいくつも持っており、また、利用者の人数が少ないことから、新しくやりたいことはたくさんあるのですが、できることが限られています。もう少し人数が増えれば、班を分けて作業ができるのですが。今後は、農業と福祉だけでなく、他の福祉事業所さんを巻き込んで、「福福連携」のような形ができないか考えています。



最近では農作業をしていると地域の方からよく声を掛けて頂くようになり、農作業のアドバイスをいただいたり、野菜のお裾分けまでくださるようになりました。福祉事業所も地域に貢献し、地域と win-win の関係でありたいという思いで、これからも様々な事業を展開していきたいです。

■ 組織概要

一般社団法人 就農ベンチャー協会  
就労継続支援 B 型事業所 びわこ板倉ファーム

〒524 - 0003 守山市中町 102

TEL.077-598-0090 FAX.077-581-0002

HP <http://www.itakura-farm.jp/>

Facebook <https://m.facebook.com/hatakeventure>



【福祉事業所の皆様へ】農業技術向上支援事業のご案内

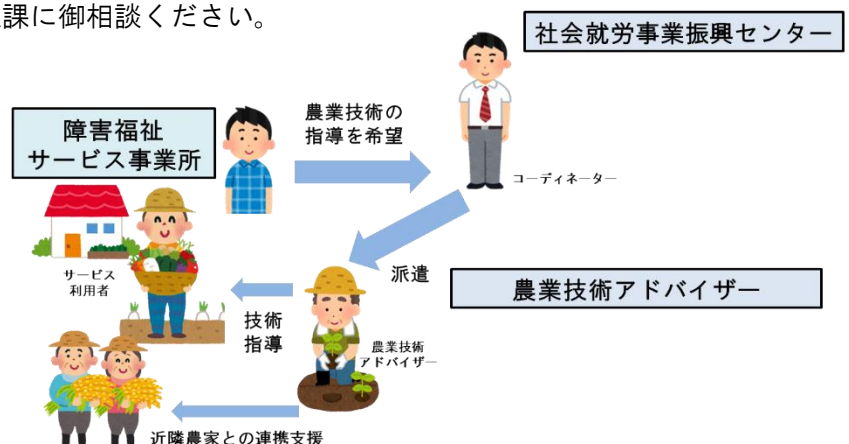
農業に取り組む障害福祉サービス事業所に対して、農業技術に関する専門的な助言や指導を行う「農業技術アドバイザー」を派遣し、農福連携の推進をサポートする事業です。NPO 法人滋賀県社会就労事業振興センターの担当者が派遣のコーディネートを行います。この事業に関心をお持ちの福祉事業所の方は、NPO 法人滋賀県社会就労事業振興センターまたは県障害福祉課に御相談ください。

(問合せ先)

特定非営利活動法人  
滋賀県社会就労事業支援センター  
所在地: 〒525-0032

滋賀県草津市大路 2 丁目 11-15

TEL: 077-566-8266 FAX: 077-566-8277



# 「しがの農×福ネットワーク」交流会を開催しました！

令和2年1月28日（火）に滋賀県大津合同庁舎で「しがの農×福ネットワーク」交流会を開催し、54名の皆様に御参加頂きました。

今回のテーマは、「**農福連携を持続可能な取組とするために―農業と福祉の壁を越えた新しい連携の可能性について考える―**」として、農産物の生産だけでなく「販路の確保」すなわち「**流通**」を意識して、これからの農福連携の取組について考えました。



前半は、共栄精密(株)様、農業生産法人資生園(株)様、(株)平和堂様、ハートコープしが(株)様の代表の方に御登壇頂き、農福連携の取組や県内流通の中核を担われている皆様から取引の仕組み等について御紹介頂きました。後半は各企業の皆様と NPO 法人 HUB's の林正剛様にコーディネーターとして加わって頂き、参加者からの質問を中心にパネルディスカッションを行いました。

流通業界の方からは、「単に農福連携というだけでなく、**その商品がどれだけ良い物であるかがお客様に伝われば売れるし、売れば経済が回る。上手く回ること自然と持続可能になっていく。**」といった御意見をいただきました。また、コーディネーターからは、農福連携は **SDGs を当てはめると色々な切り口で幅広い取組を展開**することができ、様々な分野の皆様との幅広い連携の可能性があることを示していただきました。

参加者の皆様からは、「流通の視点から新たな発想が得られることができた。」「販路の考え方がよく分かり、今後、新しいアイデアの販路や方法を考えて、話し合える場になっていけば良いと思う。」といった前向きなお声もいただきました。

今回の交流会のテーマは、ネットワーク会員の共栄精密(株)様から御提案いただいた内容を元に決定し開催しました。ネットワークの運営に会員の皆様の声を多く取り入れていきたいと考えていますので、今後とも皆様の御協力をよろしくお願いいたします。交流会に御参加いただいた皆様、ありがとうございました！

## 「しがの農×福ネットワーク」に参画いただける個人・団体等を募集しています！

「しがの農×福ネットワーク」は、「農福連携」に関心のある個人、グループ、民間団体、企業、大学、研究機関、行政機関などが、それぞれが持つ農福連携に関する情報の発信や啓発、意見交換、参加者どうしの農福連携の取組の支援などを行うことにより、滋賀の農福連携の取組を推進するネットワークです。

御賛同いただける場合は、下記の県 HP 掲載の参加申込書を御記入いただき、県農政課まで御提出ください。

農福連携に関連する最新情報をメールマガジンにて定期的に配信しています。企業、個人にかかわらず、多くの皆様の御参加をお待ちしております！

滋賀県ホームページ | しがの農×福ネットワーク

<http://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/shigotosangyou/nougyou/seisangizyutsu/304789.html> |

## 問合せ先一覧

農福連携全般に関すること	滋賀県農政水産部農政課	<a href="tel:077-528-3812">TEL:077-528-3812</a>
農業技術に関すること	滋賀県農政水産部農業経営課	<a href="tel:077-528-3845">TEL:077-528-3845</a>
障害福祉の制度に関すること	滋賀県健康医療福祉部障害福祉課	<a href="tel:077-528-3542">TEL:077-528-3542</a>
障害者雇用に関すること	滋賀県商工観光労働部労働雇用政策課	<a href="tel:077-528-3758">TEL:077-528-3758</a>
農作業受委託のマッチングに関すること	NPO 法人滋賀県社会就労事業振興センター	<a href="tel:077-566-8266">TEL:077-566-8266</a>
施設整備等の補助金に関すること	近畿農政局農村振興部農村計画課	<a href="tel:075-414-9051">TEL:075-414-9051</a>